

令和 2 年度 卒業時における学修成果達成度調査報告書

令和 3 年 6 月 2 日

別府大学

大学企画運営会議

I R センター

卒業時における学修成果達成度調査報告

別府大学 IR センター

卒業時における学習成果達成度調査の目的

本学では平成 30 年に 3 ポリシーの見直しを実施し PDCA サイクルのシステムを確立した。この PDCA サイクルにおいて、学修成果の評価指標の一つとして学生自身による学修達成度評価を掲げており、すでに「ポートフォリオ学修支援システム」において半期毎に学生による履修科目毎の自己評価が実施・蓄積され学生指導・教育改善に活用されているところである。本学の教育・研究環境のさらなる向上を目的として、この科目毎の学修達成度の自己評価を総括するための在学期間全体を通した学修成果の達成度調査を卒業時に実施する。

1. 調査の実施方法

調査の実施は、原則として e-learning システム (moodle) のアンケート機能を利用して、ネットワーク上からの回答とした。個別に筆記による回答が必要なものについては、印刷したものに回答を願い、代理入力を行った。

調査対象

別府大学全学部全学科を卒業することが確定している学生 359 名を調査対象とした。中間的な回答状況を把握し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導を願った。さらに成績発表時や、卒業式終了後などで調査用紙または web どちらかの回答を求めていくことで回答率 90%以上を目標とした。

調査期間

調査期間は、2021 年 1 月 6 日～3 月 16 日を調査期間として、調査を実施した。

調査内容

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8 項目）、2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2 項目）、3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5 項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答 3 問を含む 9 項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査の各設問については、資料 1 として、本報告書の文末に添付した。

2. 調査実施結果

1) 学習成果達成度調査の回収実績

各学科の卒業者数と調査回答数と回答率を下の表 1 にまとめた。大学全体での回答実績は 92%となった。

表 1. 卒業時における学習成果達成度調査回答状況

所属学科	卒業生数	回答数	未回答数	回答率
国際言語・文化学科	62	60	2	97%
史学・文化財学科	83	77	6	93%
人間関係学科	63	53	10	84%
食物栄養学科	54	53	1	98%
発酵食品学科	11	10	1	91%
国際経営学科	86	76	10	88%
計	359	329	30	92%

調査項目ごとに、大学全体及び学科別の主観的修得状況についての集計結果をそれぞれの百分率により、グラフ化した。

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

教養の（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の項目として、(1) 思考力や表現力などの基礎的素養、(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解、(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力、(4) 人間と文化の探求に必要な教養、(5) 現代社会の理解に必要な教養、(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養、(7) 情報処理の基本的なリテラシー、(8) 英語の基本的なリテラシーの修得について質問を行った。

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養

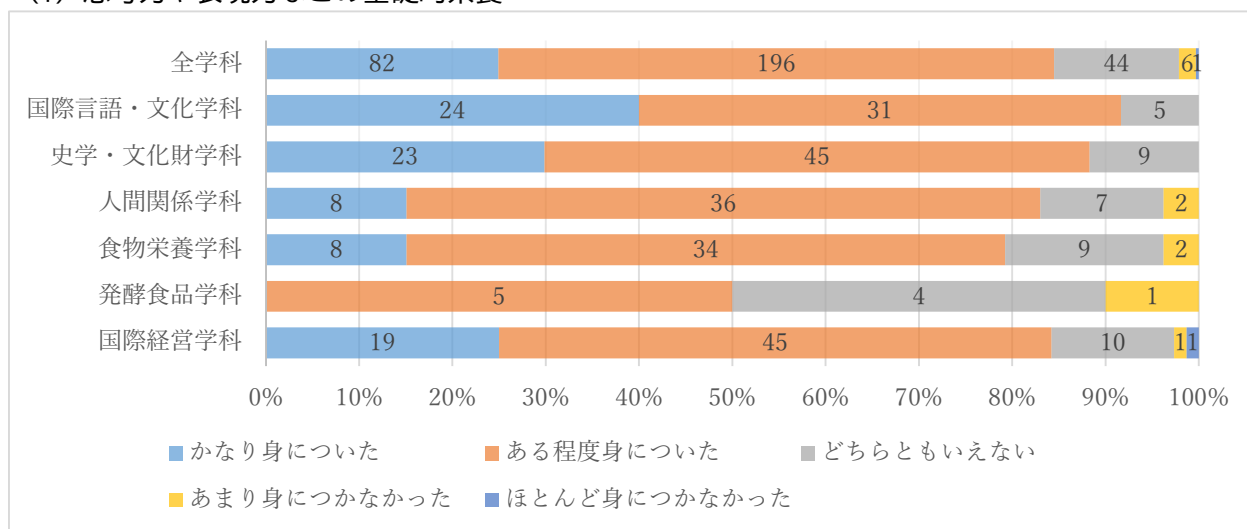


図1. 思考力や表現力などの基礎的素養の修得に対する主観的評価

思考力や表現力などの基礎的素養について大学全体では 84%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。文学部と国際経営学部は 80%を超えているが、発酵食品学科だけが 50%代と低くなっている。

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解

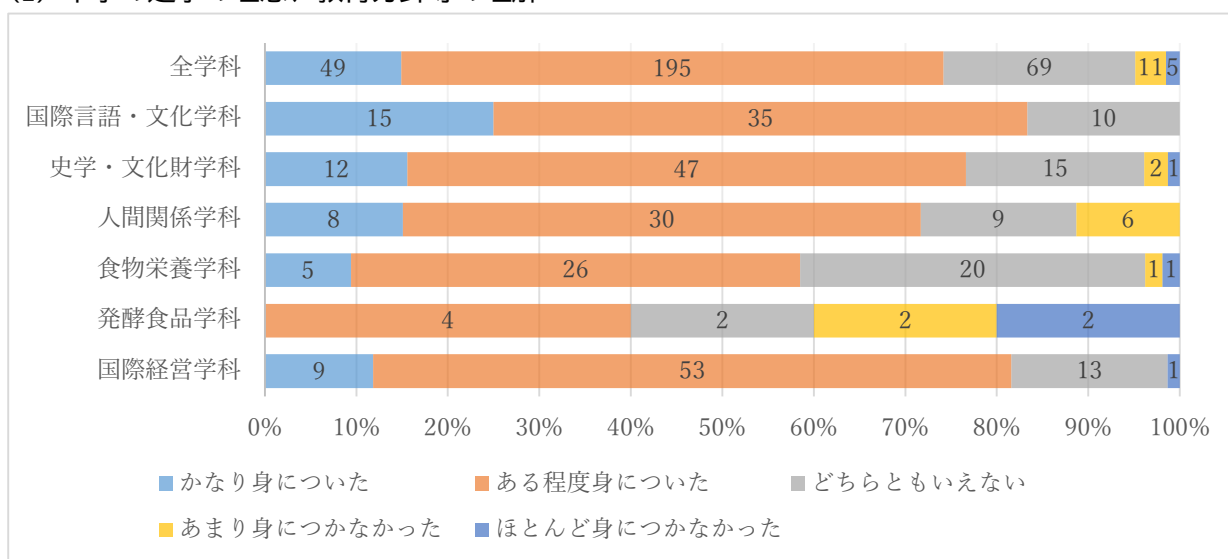


図2. 本学の建学の理念、教育方針等の理解に対する主観的評価

本学の建学の理念、教育方針等の理解について大学全体では74%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科は60%未満、発酵食品学科は40%と低い数値となっている。

(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力

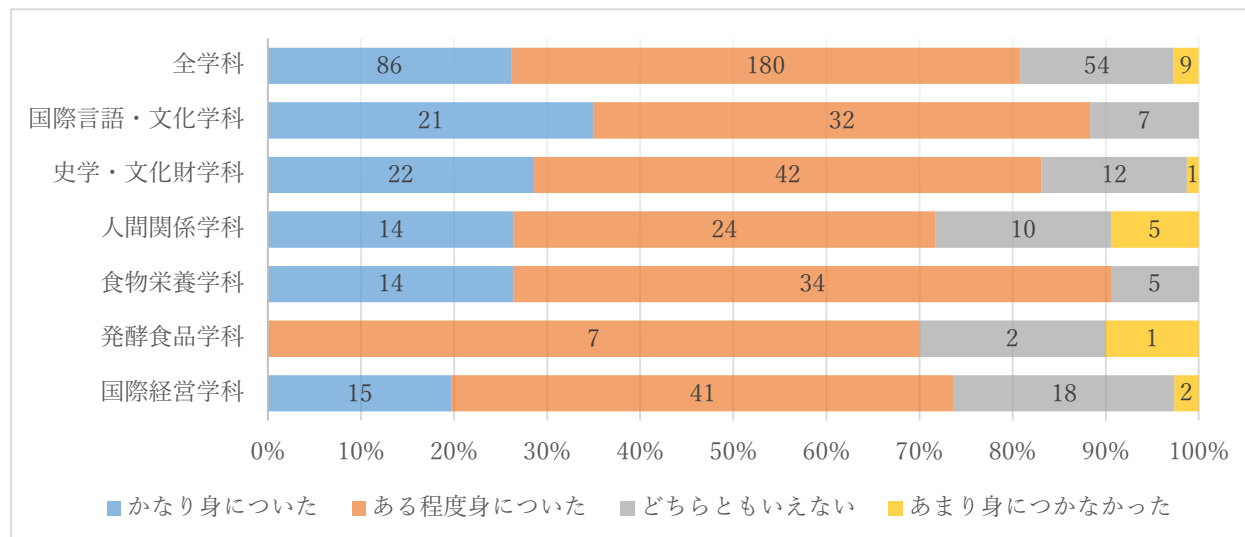


図3. 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力の修得に対する主観的評価

特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力について、大学全体では81%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科では72%、発酵食品学科では70%とやや低い数値となっている。

(4) 人間と文化の探求に必要な教養

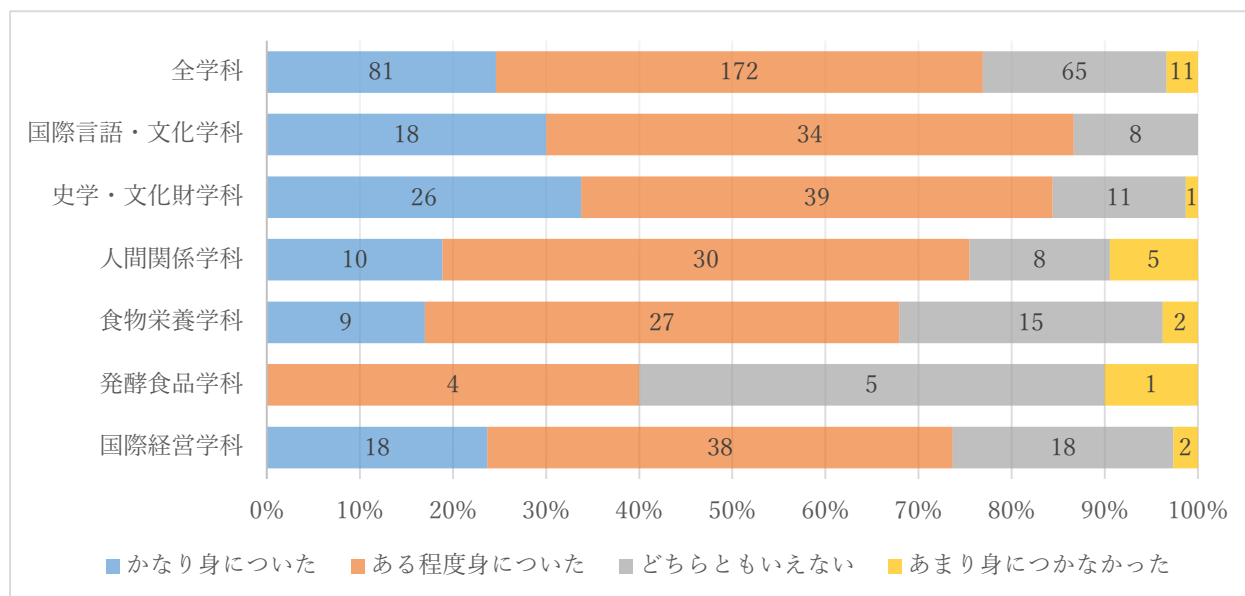


図4. 人間と文化の探求に必要な教養の修得に対する主観的評価

人間と文化の探求に必要な教養について大学全体では77%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科では68%、発酵食品学科では40%と低い値を示した。

(5) 現代社会の理解に必要な教養

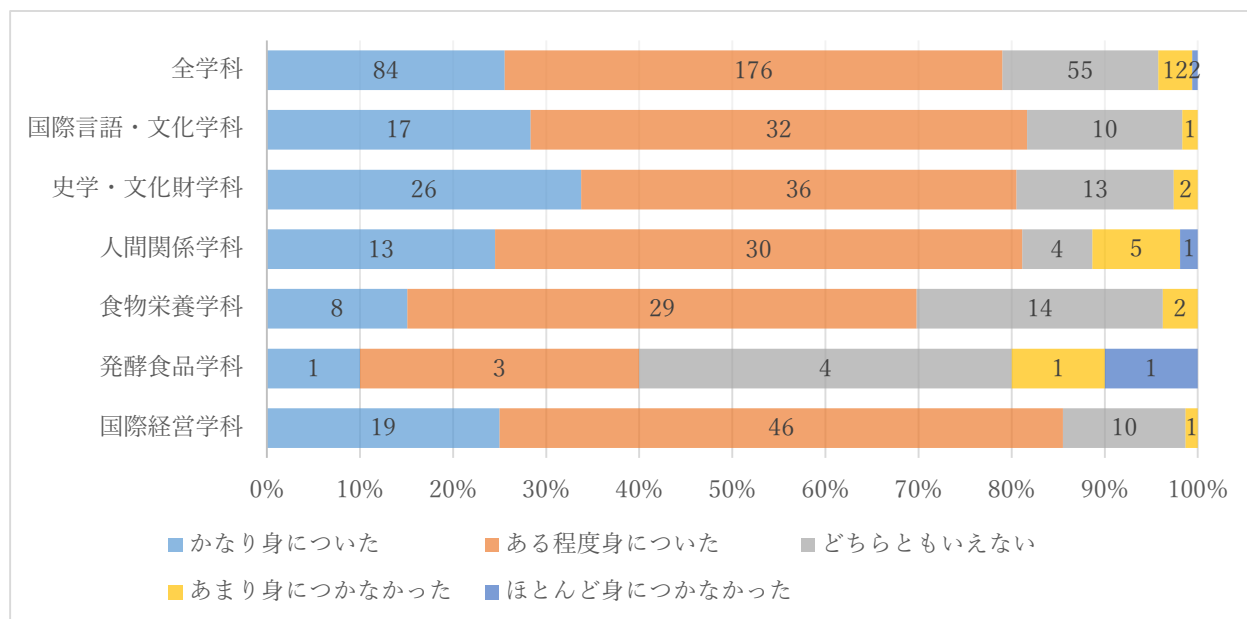


図5. 現代社会の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

現代社会の理解に必要な教養について大学全体では 79%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科では 69%、発酵食品学科では 40%とやや低い値を示した。

(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養

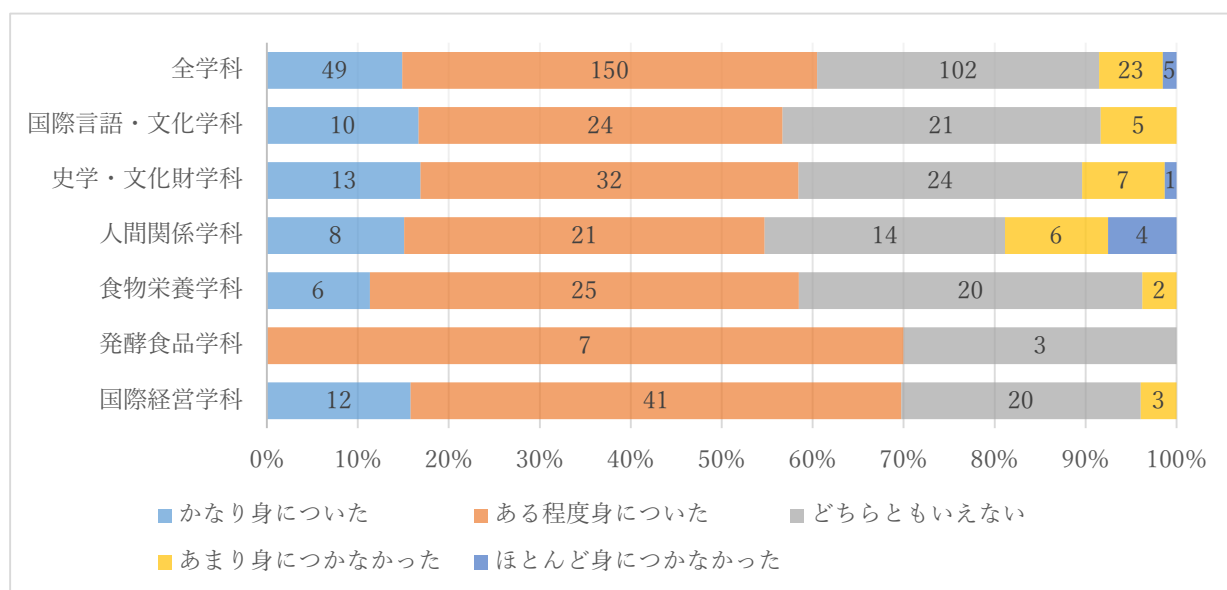


図6. 科学技術と自然環境の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

科学技術と自然環境の理解に必要な教養について大学全体では 60%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。文学部と食物栄養学科では、60%未満と低い値を示した。発酵食品学科と国際経営学科では 70%近いやや高めの値となっている。

(7) 情報処理の基本的なリテラシー

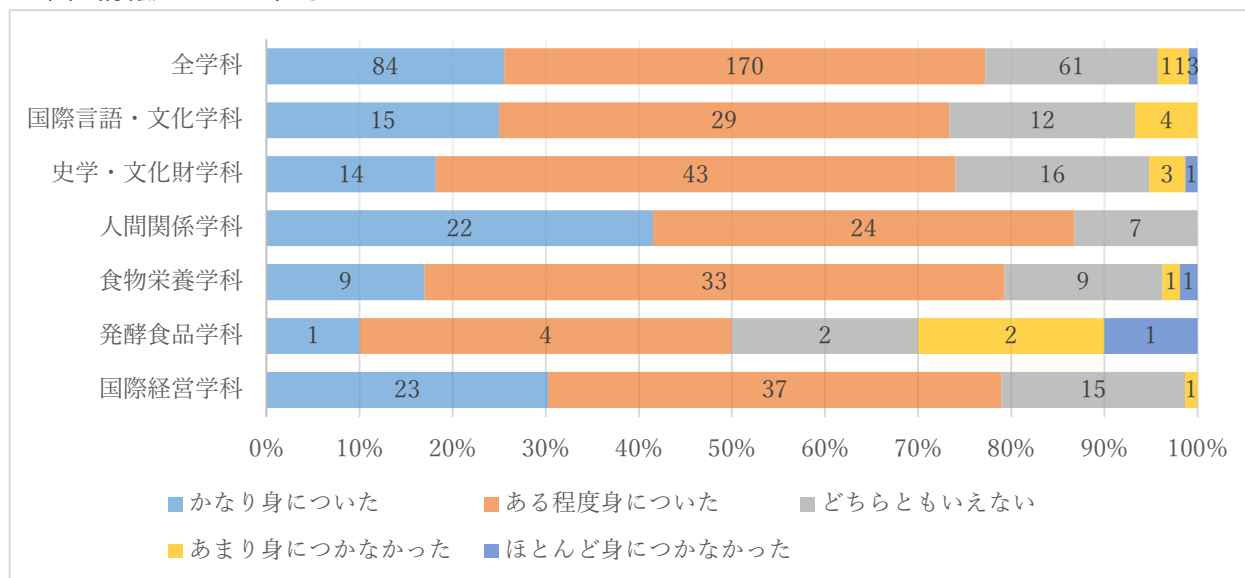


図 7. 情報処理の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

情報処理の基本的なリテラシーについて大学全体では 77%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科では 87%と高い値を示した。発酵食品学科では 50%と低い値を示した。

(8) 英語の基本的なリテラシー

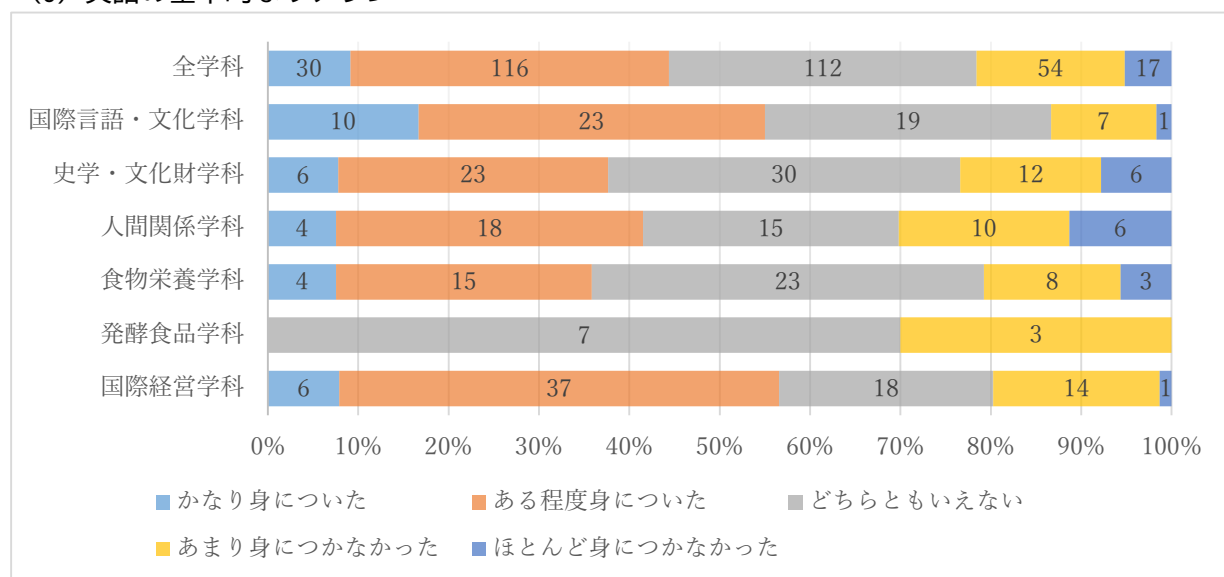


図 8. 英語の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

英語の基本的なリテラシーについて大学全体では 44%の学生が、「ある程度身についた」以上で非常に低い回答になっている。特に史学・文化財学科と食物栄養学科では 40%未満、発酵食品学科では 0%と低い値を示した。

2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）

専門力について（1）専門分野の基本的な知識や技術の修得状況、（2）専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解の2点について主観的修得状況を問う質問を行った。

（1）専門分野の基本的な知識や技術の修得状況

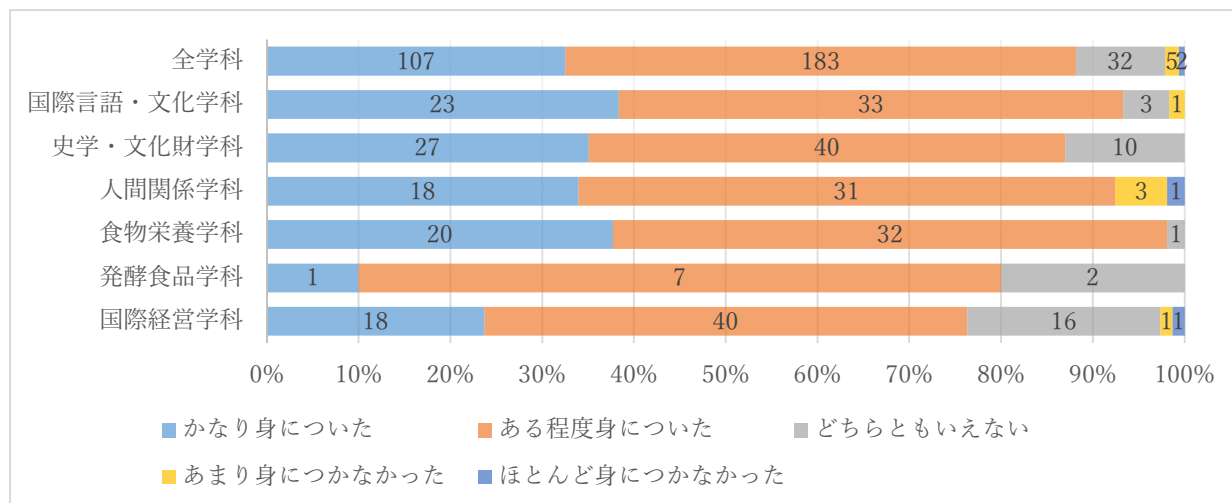


図9. 専門分野の基本的な知識や技術の修得に対する主観的評価

専門分野の基本的な知識や技術の修得について大学全体では88%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際経営学科では76%とやや低い値を示した。また、3学科については90%を超える高い値を示した。

（2）専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解

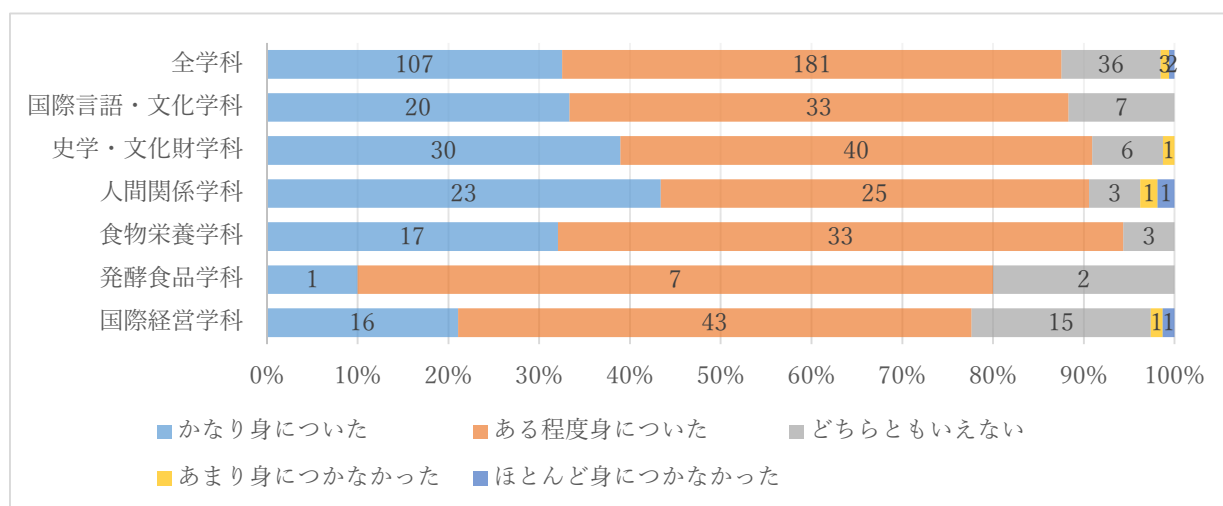


図10. 専門分野のもつ社会的な意義を明確な理解の修得に対する主観的評価

専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解について大学全体では87%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。3学科については90%を超える高い値を示したが、国際経営学科は70%台と低い値を示した。

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）

汎用力（社会で活躍できる汎用性のある能力）の修得については、(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）、(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）、(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力、(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけ、豊かなコミュニケーション力、(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力（情報収集・分析力、ＰＣスキルなどを含む）について、主観的修得状況を質問した。

(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）

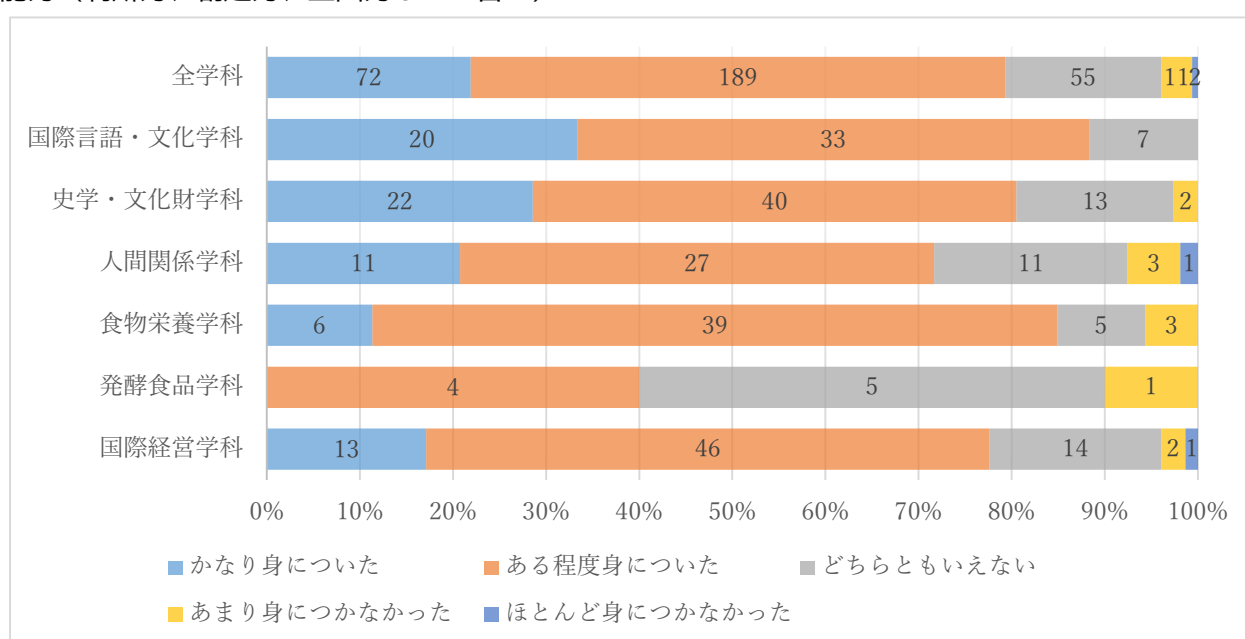


図 11. 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力の修得に対する主観的評価

論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）について大学全体では 79%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は 40%と低い値を示した。

(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）

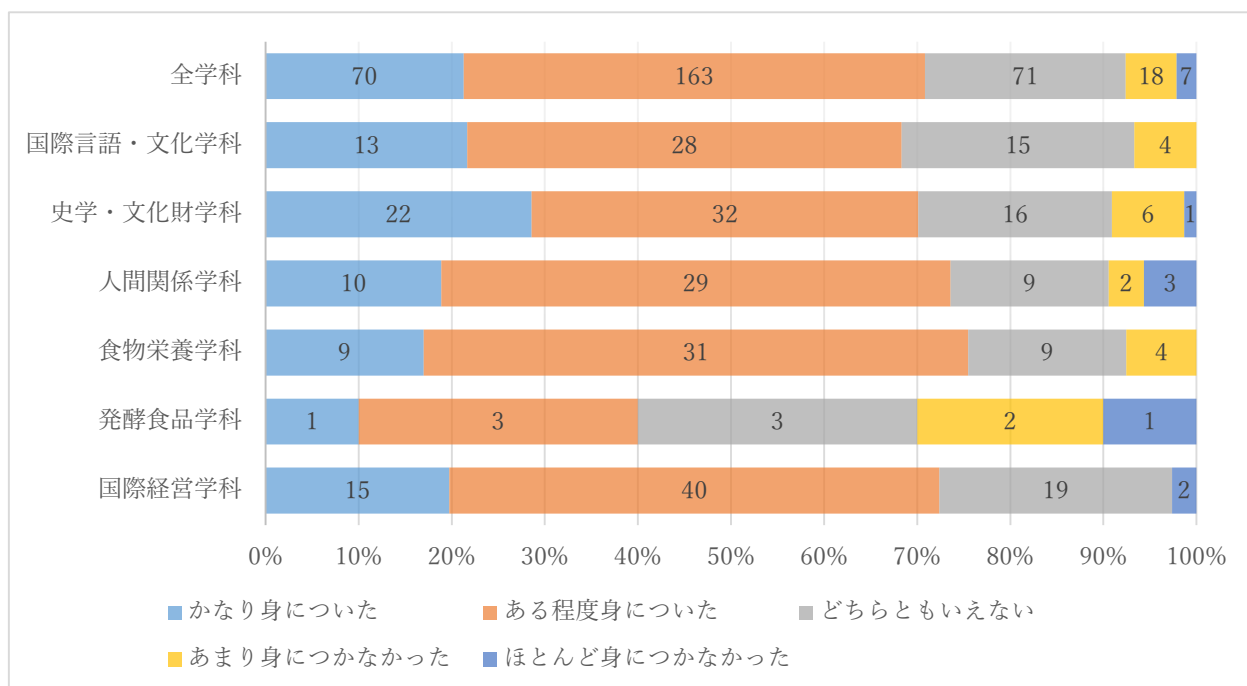


図 12. 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）の修得に対する主観的評価

組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）について大学全体では 71%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は 40%と低い値を示した。

(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力

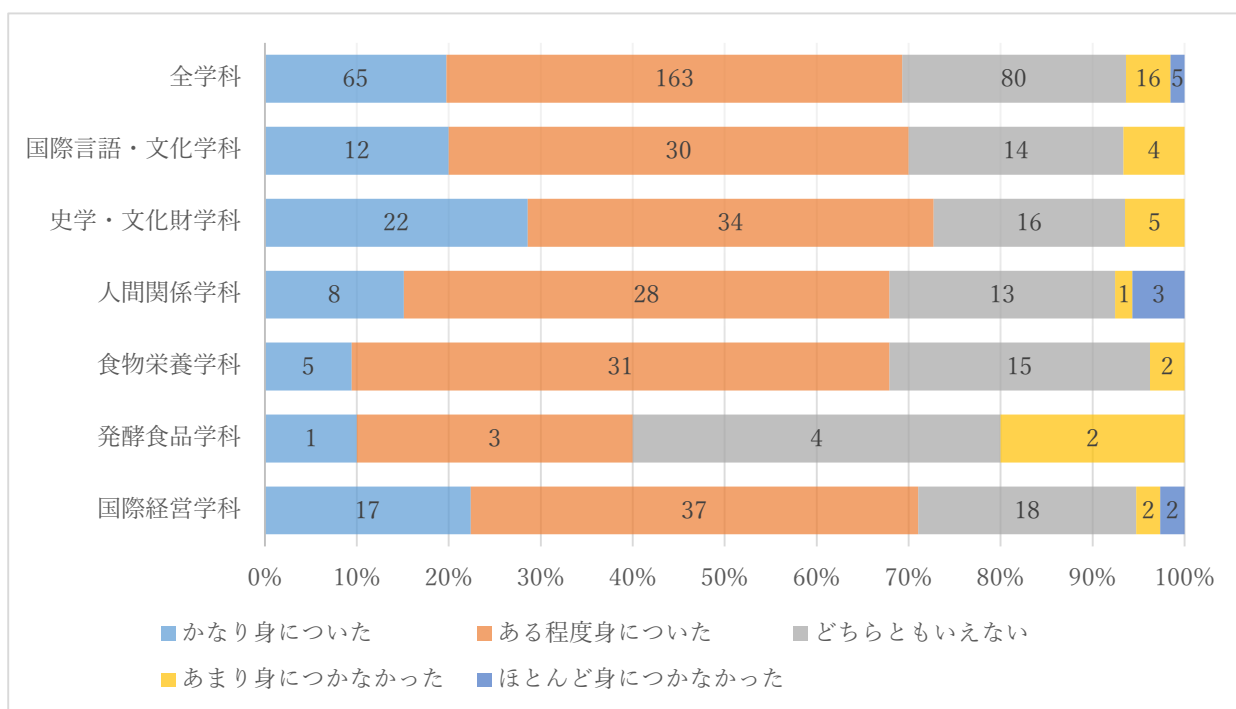


図 13. 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力の修得に対する主観的評価

自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力について大学全体では 69%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は 40%と低い値を示した。

(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力

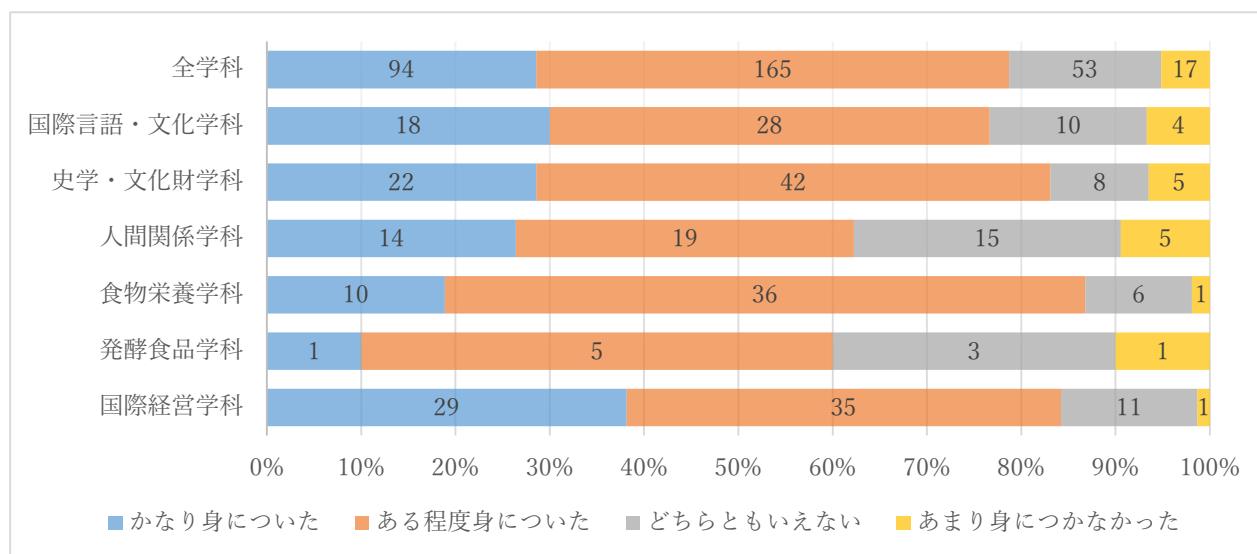


図 14. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力の修得に対する主観的評価

場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力について大学全体では 79%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科では 62%、発酵食品学科では 60%と低い値を示した。

(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)

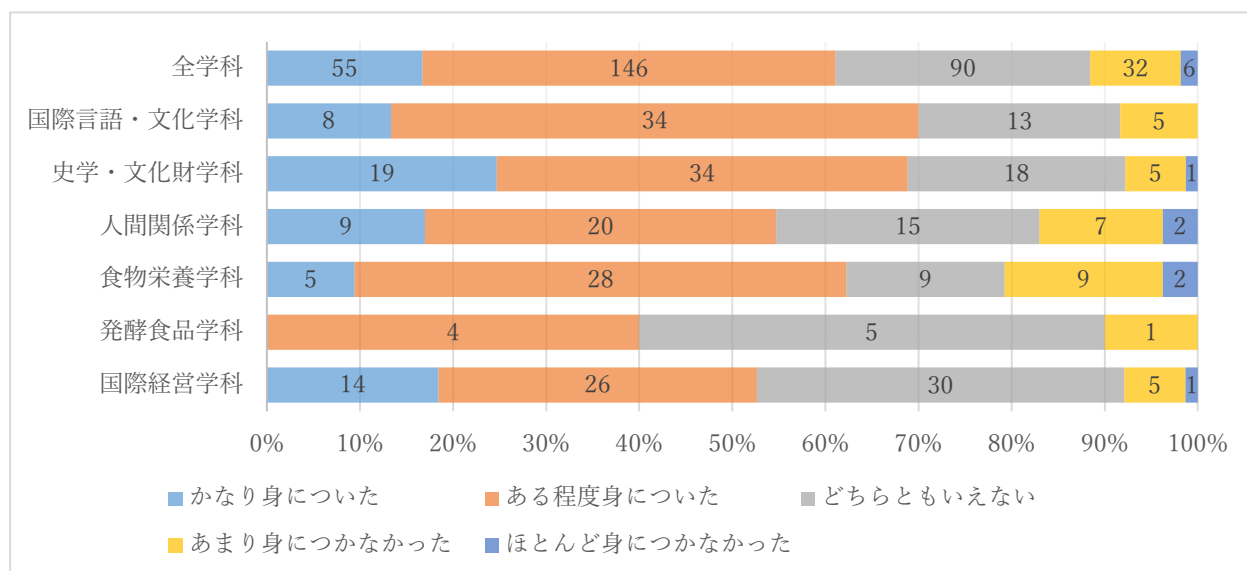


図 15. 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力の修得に対する主観的評価

我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力について大学全体では 61%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。やや低い。発酵食品学科では 40%と低い値を示した。

4. その他

その他として（1）在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと、（2）卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度、（3）卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見（自由記述）、（4）あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験（自由記述）、（5）卒業後の進路への満足度、（6）大学で学びと自身の進路への貢献度、（7）大学に期待すること（自由記述）、（8）卒業する学科に期待すること（自由記述）、（9）後輩へのメッセージ（自由記述）の質問を行った。

（1）在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことについて、学科別の集計を図 16 に示した。

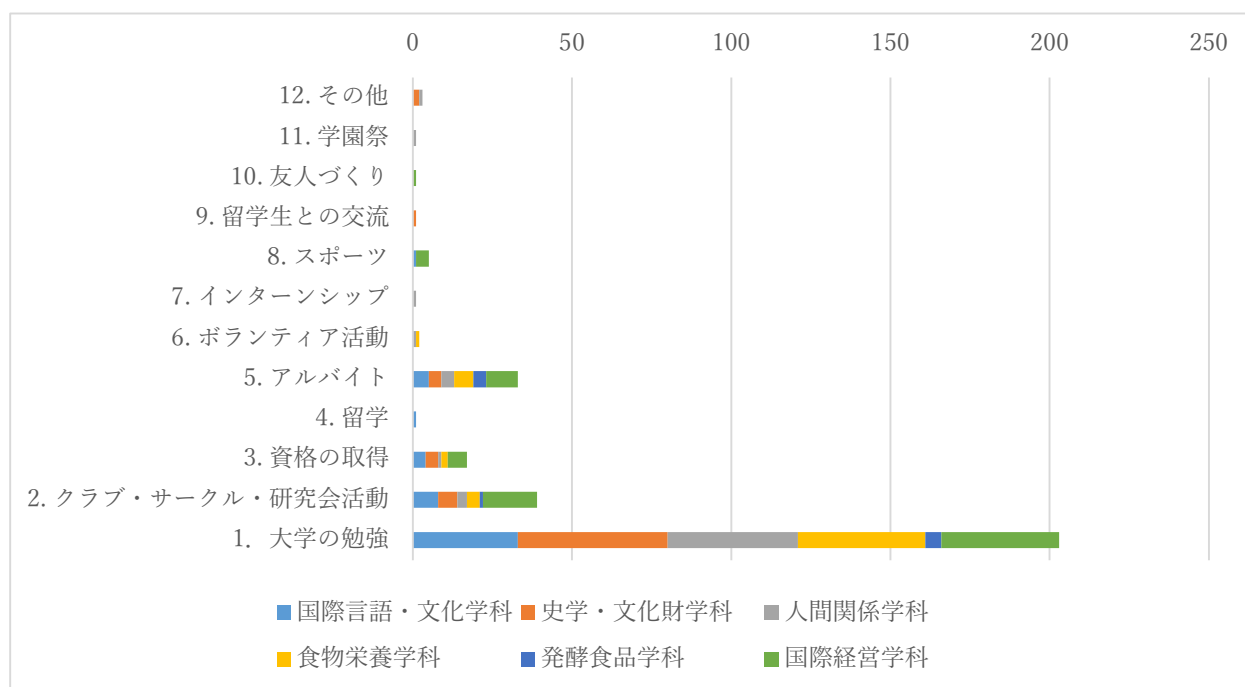


図 16. 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと

6 学科を超えて、複数回答において最も多く回答があったものは、大学の勉強であった。また次いでクラブ・サークル・研究会活動、アルバイト、資格の取得の順にあげられた。一方で、留学やインターンシップ、留学生との交流などには経験者が少なく、また学科による偏りも大きい傾向があった。

学科	十分に満足がいくものであった	満足できるものであった	どちらともいえない	やや不満足であった	改善を希望する内容であった
全学科	45	39	14	2	0
国際言語・文化学科	38	43	15	2	2
史学・文化財学科	38	42	15	2	3
人間関係学科	49	34	14	1	2
食物栄養学科	40	51	7	1	1
発酵食品学科	10	50	10	0	30
国際経営学科	58	32	5	2	3

卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度については、大学全体では 82%の学生が、「満足できるものであった」以上で回答している。発酵食品学科では 60%と少し低い値を示した。

[illegible]

学生からの自由記述にある、卒業論文作成における図書の貸し出しや教員の指導及びコロナ禍での不安などが関連を持っていることが示される。自由記述の回答の全文を報告書末に資料 2 として添付する。

図 19 に表示する (<https://textmining.userlocal.jp/>)。

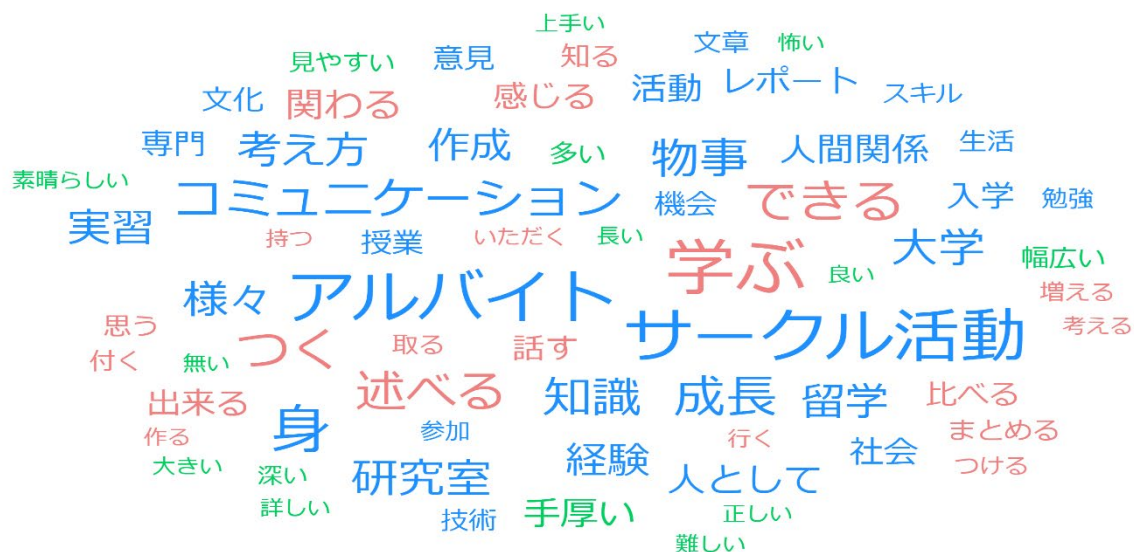


図 19. 在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述のワードクラウド分析結果

自分が成長できたと思う経験についての自由記述をワードクラウド分析した結果、サークル活動やアルバイトなど、様々な人々との関わりと学生の成長との関連が示された。自由記述の回答の全文を報告書末に資料3として添付する。

(5) 卒業後の進路への満足度についての集計を図 20 に示した。

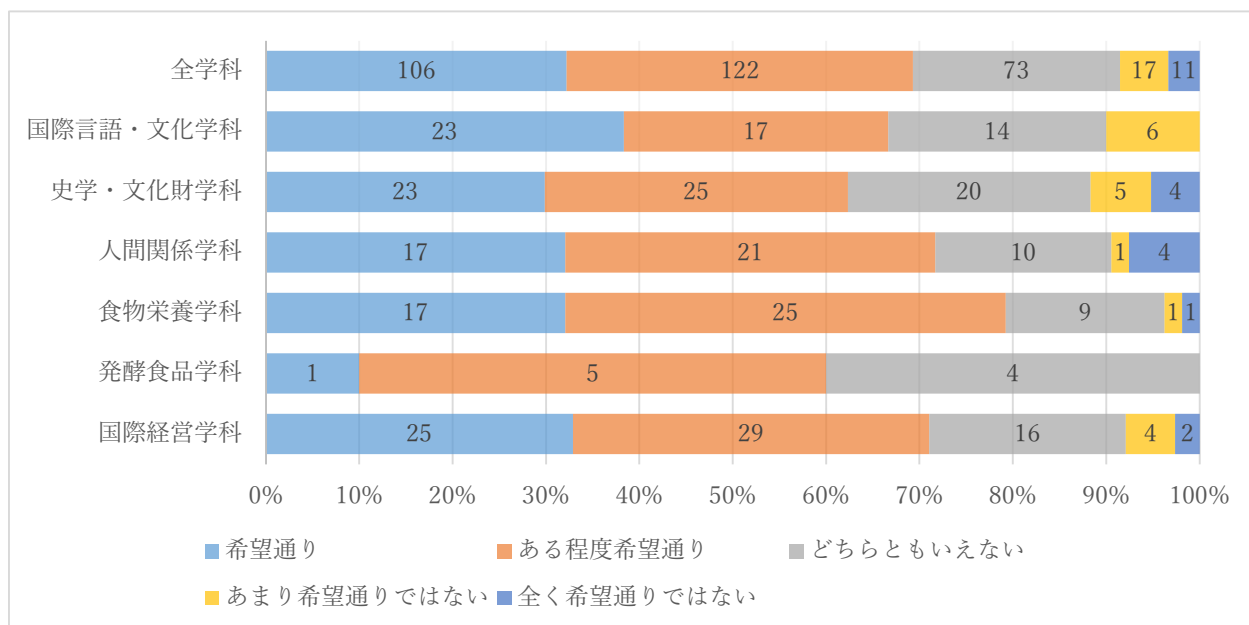


図 20. 卒業後の進路への満足度

卒業後の進路への満足度については、大学全体では 69%の学生が、「ある程度希望通り」以上で回答している。発酵食品学科では 60%と低い値を示した。

(6) 大学での学びと自身の進路への貢献度についての集計を図 21 に示した。

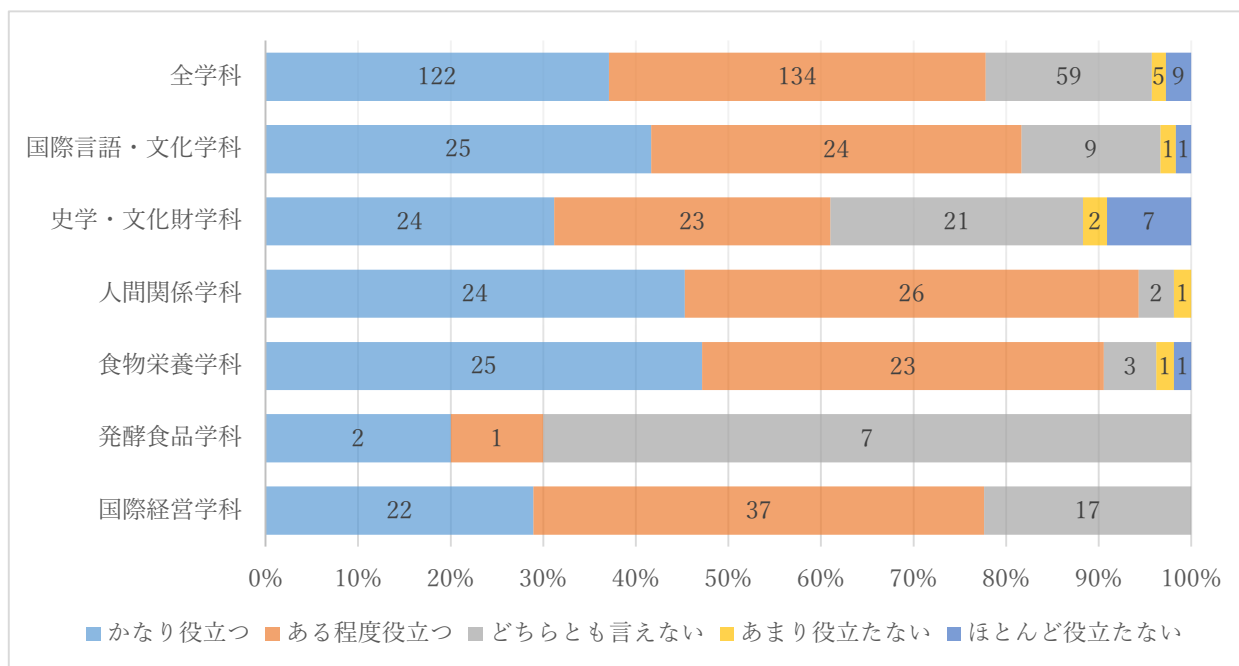


図 21. 大学での学びと自身の進路への貢献度

大学での学びと自身の進路への貢献度については、大学全体では 78%の学生が、「ある程度役立つ」以上で回答している。発酵食品学科では 30%と低い値を示した。

(7) 大学に期待することに関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて分析した結果を図 22 に表示する (<https://textmining.userlocal.jp/>)。

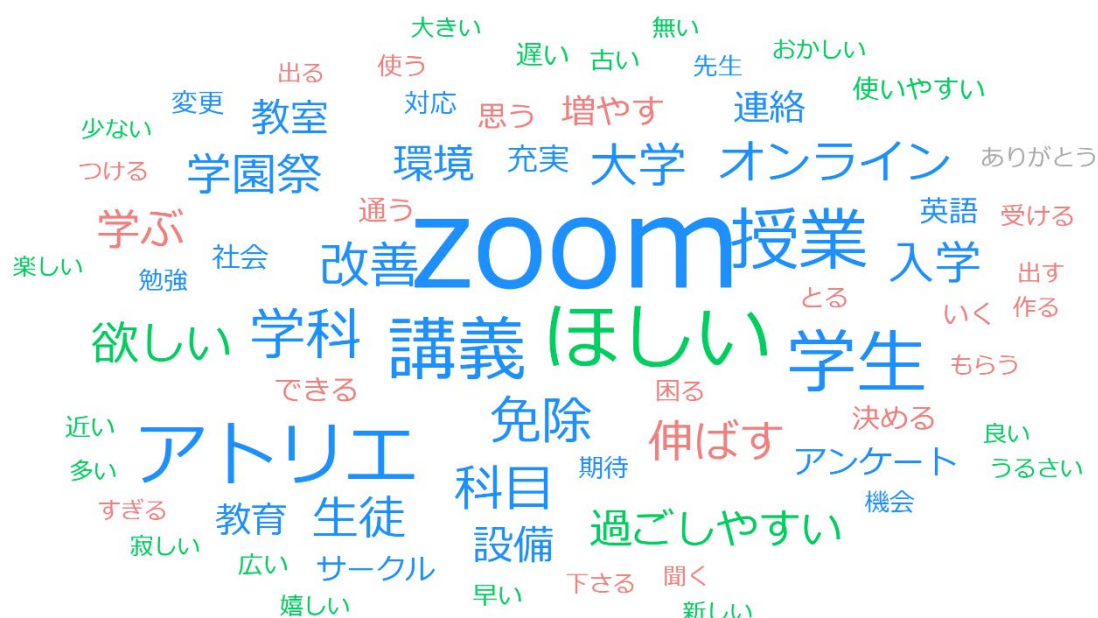


図 22. 大学へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

学生の記述にあるように、オンライン授業・ZOOM講義や奨学金制度など大学が検討すべきことが述べられている。

(8) 卒業する学科に期待することに関する自由記述を学科ごとに、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 23～図 28 に表示する。

(<https://textmining.userlocal.jp/>)。

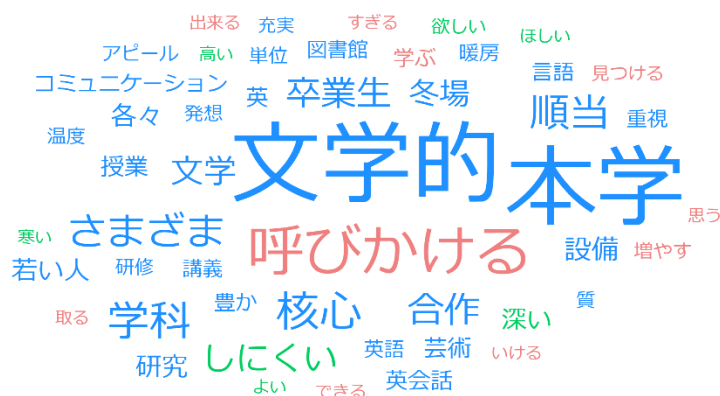


図 23. 国際言語・文化学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

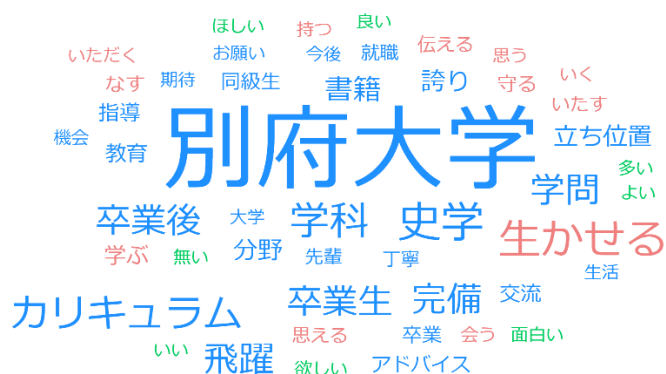


図 24. 史学・文化財学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果



図 25. 人間関係学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

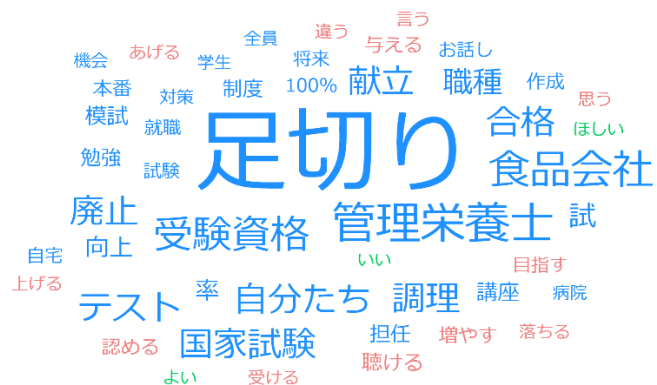


図 26. 食物栄養学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

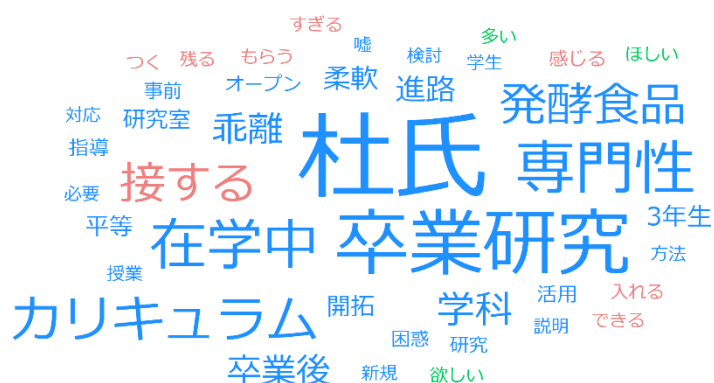


図 27. 発酵食品学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

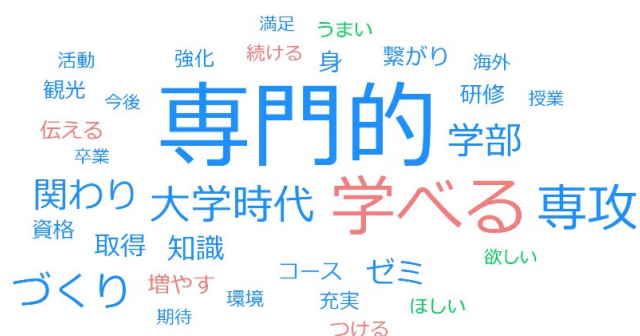


図 28. 国際経営学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

卒業学科へのメッセージでは、卒業する学生からの学科に対する様々な思いが表現されていた。

[illegible]

後輩へのメッセージではコロナ禍での大学生活や、学科での学び、就職活動など多岐にわたるメッセージが得られた。

5. まとめ

別府大学では令和3年3月に卒業する学生を対象として、ディプロマポリシーの項目の定着確認をアセスメントする目的で、2021年1月6日～3月16日を調査期間として、卒業時調査を実施した。

別府大学を卒業することが確定した学生359名を調査対象とした。中間的な回答状況を把握し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導を願った。さらに成績発表時や、卒業式終了後などで調査用紙またはwebどちらかの回答を求めていくことで回答率90%以上を目標とした。

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8項目）、2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2項目）、3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答3問を含む9項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査は学生自身の主観による達成度を「かなり身についた」、「ある程度、身についた」、「どちらともいえない」、「あまり身につかなかった」、「ほとんど身につかなかった」の5段階で回答願ひ、主観的達成度が「ある程度、身についた」と回答できる段階までを達成できていると考え、集計を行った。

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する8項目については主観的な修学状況は、大学全体では「(1) 思考力や表現力などの基礎的素養が身につきましたか」に対しては83%、「(2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。」については74%、「(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。」については81%、「(4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。」については77%、「(5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。」については79%、「(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。」については60%、「(7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については77%、「(8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については44%という結果となった。

2. 専門力としての「(1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。」に対しては88%、「(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。」に対しては87%の回答が得られた。

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）としては、「(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む）。」は79%、「(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働力、傾聴力などを含む）。」は71%、「(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。」については69%、「(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。」については79%、「(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）」については61%の回答となることが明らかになった。

また、全体的に、専門力については高い値が出たが、教養にはばらつきがあり、特に科学技術と自然環境の理解、英語の基本的なリテラシーについては、低い数値となっている。汎用力についても、情報力について低い傾向が見られる。この傾向は昨年度と同様であり、本学の学生が専門については非常に意欲的に取り組んでいることは頼もしい限りだが、一方で、教育を受ける側も専門重視の傾向

が強く、社会で必要な教養や ICT のリテラシー教育については既存の授業任せで、カリキュラムの見直しも行われていないことが原因となっていないかなど、検討が必要な問題である。各学科でも、4年間を通したカリキュラムの中で、何か足りない部分はないのか、学生の生の声を反映したこの調査の結果を真摯に受け止めて議論を深め、改善に結び付けていくことが求められる。その改善により今後の継続的調査で結果を出していくことが本学の教育の全体的向上につながるのではないだろうか。

以上

資料1. 別府大学卒業時調査の様式

別府大学 卒業時調査

この調査は別府大学での学びの成果について、本学が定めた学位授与の方針（Diploma Policy：DP）の達成度について、大学を卒業される予定の学生の皆さんへ伺い、より質の高い教育を実践するための改善に用いるものです。

調査の回答には、ご自分で振り返って入学時や入学前のあなたのスコアを基礎として、考えてください。

回答は5件法で、かなり身についた（1）、ある程度身についた（2）、どちらともいえない（3）、あまり身につかなかった（4）、ほとんど身につかなかった（5）を基本として設問に応じて選択肢は、かなり身についた、かなり思う、かなりできる、など適宜使い分けてください。

学籍番号..... 氏名.....

所属の学科に☑を入れてください。

- ☐文学部国際言語・文化学科 ☐文学部史学・文化財学科 ☐文学部人間関係学科
☐食物栄養科学部食物栄養学科 ☐食物栄養科学部発酵食品学科
☐国際経営学部国際経営学科

1 かなり 身につ いた	2 ある 程度 身に つ いた	3 ど ち ら と も い え な い	4 あ ま り 身 に つ か な か っ た	5 ほ と ん ど 身 に つ か な か っ た
-----------------------	--------------------------------	--	--	---

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

- | | (回答例)→ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ |
|--|--------|---|---|---|---|---|
| (1) 思考力や表現力などの基礎的素養を身につきましたか。 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

次へ

	1 かなり身についた	2 ある程度身についた	3 どちらともいえない	4 あまり身につかなかった	5 ほとんど身につかなかった
2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）					
(1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。	○	○	○	○	○

	1 かなり身についた	2 ある程度身についた	3 どちらともいえない	4 あまり身につかなかった	5 ほとんど身につかなかった
3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）					
(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む）。	○	○	○	○	○
(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働力、傾聴力などを含む）。	○	○	○	○	○
(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、ＰＣスキルなどを含む）。	○	○	○	○	○

次へ

4. その他

- (1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことを挙げて下さい（複数選択可）。

資料2.「(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述」回答

大分県の地域振興についてやった。

自分の足を使つての調査をした

大学生生活、学生生活最後に研究室の活動ができ、自分にとって大変貴重な経験になりました。先生方、同じ研究室のメンバーに感謝の気持ちでいっぱいです。

調査に協力して下さった大分香りの博物館の皆様と指導教員の先生の丁寧なご指導、諸先輩方のご助力により卒業論文を完成させることができました。心より感謝申し上げます。

指導教員の人手不足を感じる。

ここでは出来ないと言われ、何も進まない。

今年はコロナウイルス拡大という特殊な環境下であったが、zoom や LINE などを利用し担任と話し合えることが可能であったので問題はなかった。また、自宅で待機しつつ十分な時間を制作に当てることが出来た。

先生が本や参考書などを貸してくれたため、より詳しく調べることができた

卒業論文を発表する前に卒業論文をある程度完成させるのではなく、卒業論文を完成させてから発表するシステムの方がやりやすいと思った。

話にならない。

論文を2万字に設定することが、本来の学術的論文に近づく足掛かりとなるのかもしれないが、学生レベルでは引き延ばしの文面に見えてより陳腐な出来栄えになってしまった。来年は出来栄えによって判断してみてもどうか。

悩んだ際相談した時、先生が全てを肯定してくれたおかげで勉強が続けられた。

今年はコロナの影響で気軽に図書館などを利用できなかったけど普段は問題ないと思います
卒業論文でのオンライン指導は的確だった反面、ちょっとした疑問や不安を伝えづらかった。

落ち着いた雰囲気で作業を進めることができました。

クラス単位で卒論について学ぶより1体1の個人で学ぶ方が断然分かりやすく、理解出来た。

絵画のアトリエの水道からお湯がでるといい。冬になると手がバキバキ。

アトリエがもっと広々と使えたらいい。狭い。大きいのが作れない。

論文の書き方などに特化した本があると良かったと思った。

コロナ時期も相まってしかなかったと思うが、他人と情報共有できずなかった。また、担当教諭とのネット上でのコミュニケーションのスピードがかみ合わず、できればネット関連の教諭側がすぐにレスポンスできる、またはしやすいシステムがあれば便利だと思った。

自分で考えて研究を行うのは難しかったですが、とても自分の将来に繋がるものだと思います。

コロナの影響で対面授業ができない時期があったのは仕方のないことだと思うけど不安に思う部分がありました

卒業研究を書いています、周りの環境がいいです。何の影響もありません。

ゼミの先生が丁寧に指導してくださって、スムーズに終わらせることができて良かった。

私が専攻するテーマは図書館で史料を集める事が出来ましたが、論文を図書館で取り寄せてもらう事が出来るという事を知らなかった為、もっと早くから知りたかったです。図書館内の掲示板等に卒論取り寄せについてわかるように案内があると嬉しい。

早いうちに調査を終えて、卒論に取り掛かる期間があったので、よかった
ゲーム障害関係の本が少なかった。

授業料に見合ったひとりあたりの卒業研究費が必要だと感じた。指導教員の研究費獲得実績を重視するのならば、科もしくは部に研究費獲得のための専任を雇用すべきだと考える。全ては学生の知の追求のためであり、また学生の研究欲求を妨げる教員は教科担当を外れるべきである。

さらに指導教員自身の問題による指導力の欠如を理由とした学生の研究室移動についても、柔軟に考慮してもらいたい。

周りの目を気にしてしまうので、もっと個人で研究できる環境がほしかった。

ジャパンナレッジのアクセス数が一定を超えると弾かれてしまうのがもどかしかった。

使う頻度の高い機械の中にも故障して使えないなどがありました。

図書館に役立つ本が少なかったです

学校内が集中できる環境であり、とても良かったと思う。

図書館の積層書庫 1 階にある発掘調査報告書などは探すのに時間かかり、利用する人も多いため移動棚ではない場所に収蔵していただけた方が利用しやすいと思いました。実際に長時間滞在する人も多く、利用するのに待たなくてはならない場面がありました。

出来れば歴史に関する蔵書を増やして欲しい。特に当時の内容を知れるような史料。

私は史学を専攻しているが、専門書をさらに揃えてほしいと思った。

学内が閉まる時間までには帰りたいかったです。

卒論担当の先生には、感謝の言葉しかない。

卒業論文に必要な本や資料を、図書館で収集した。

私のゼミの先生は良い意味で見守ってくれていた。自分が書きたい事を、しっかり聞いて分からないことがあったら資料を見せてくれながら的確なアドバイスをくれた。良いものにしようと思う気持ちから採点して言葉を変えようとしてくる教員がいる中で、この先生のやり方に出会えた事は物凄く満足のいく卒業論文を書くことができたと言える。

卒業論文の時期にゼミの先生の仕事をなくしてあげないと僕らの論文に集中して協力できないのでは？

様式等あまり分からず苦戦した。

先生との距離が近く相談がしやすかった

先生に、お世話になりました

参考文献を増やしてほしいです。

非常に、愉しみながらできた

中間報告をしていたので他の人の研究も聞けたので良かった。また過去の卒業論文を見せて貰えたので構成が作りやすかった。

卒論は人それぞれテーマが違うため、作り方も人によって違うと思われるが、書式やフォント数、1 ページ辺りの字数などの統一出来る規定があると見やすくなりそうだった。

担当の先生が有効な資料などを提供してくれた。

小説や原作者についての書籍の新しいものをもっと入荷して欲しい

資料3. 在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述

考えること

自分から進んで学習することができた

自分の金で留学に行ったこと。

大学での勉強がなければ全く知らなかったであろうという場面に遭遇した。一部の苦しみから抜け出す方法を知った。

入学時と比べてPCのスキルが身についたと思います。実験でのレポートや卒論、授業で扱うことによりスキルが身についたと思います。本当に良かったです。湯けむり健康教室では、先のことを考えて行動する、客観的に物事を捉える（視点を変える）など考え方が変わりました。

自分の意思で、物事を考える力がつきました。

演習の発表やレポートの作成等でワードやエクセル、パワーポイントの技術が向上した。初めての一人暮らしで、生活のスキルが身についた。

多くの人と関わる機会を得て、コミュニケーション能力を身につけることができた。

専攻と関連したコンピューター技術たちを習得して卒業作品を作る時感じた

専門科目や英語の力は現時点で必要なだけ身に付いたと感じる。コミュニケーション能力、思考力、リテラシーなどにも変化があったがこれは普段の生活での努力によるものだと感じる。

友人から本を読むように勧められてから、人として成長できたと思う。

多くありますが、・学内でのアルバイト(イラストの依頼、それに伴う会議や資料作成、現地調査、研究)・学内での複数人による作品作りは在学中でしか経験できないことだと思うので貴重な経験だったと感じます。二つの経験を通じて効率的な仕事の進め方、クライアントとのコミュニケーション(メールや会話など)を学ぶことが出来た。精神的にも成長できたと感じる。

就職活動をする時に、あまり緊張せずに自分の意見を言うことができるようになり、敬語もある程度身につけることができた

授業などでグループ活動をする機会がたくさんあったので、コミュニケーションを取ることの大切さを改めて学ぶことができた。

「大人」がみんな正しいわけではないと知れたこと。

自分の意思で授業を選択する大切さ。

この大学で成長できた事

今まで知らなかった事を知った上で新たな物事の見方をするという事(問題解決の方法が増えた)が出来るようになった

外国人留学生として、別府大学で留学して非常に成長しました。例えば、1、一年生と二年生の間、県内の楊志館高校とコンパルホールで開催された日本語スピーチコンテストに参加させていただき、優秀賞を受賞しました。それがきっかけで、自信がつき、日本語が円滑に話せるようになりました。また、人々の前で話すのが怖くなりました。2、先生たちはいつも丁寧にいろいろ教えていただきましたので、自分の努力を加え、大量な資格を取りました。(JLPT 日本語能力試験 N1・日商簿記検定 2 級、3 級・ビジネス会計検定試験 3 級など) 3、いろんなボランティア活動に参加しましたので、自分の力が微小だとしても社会に貢献できると信じるようになりました。(ラグビーワールドカップ 2019 日本大会大分会場公式ボランティア、別府市少年自然の家おじか、別府公園のいろんな展

覧会など)4、連続3年間奨学金を獲得しました。経済上は非常に助かりました。(横萬育英財団、大分県奨学金海外戦略、ロータリー米山奨学金など)5、別府市役所に推薦していただき、一年間の社会人生活を体験しました。主に翻訳通訳の仕事をしていますが、周り公務員の方が多く、社会人の皆さんに非常に勉強したことが多いです。6、就職対策(SPIや面接など)が完備で、理想な仕事、理想な会社の内定も獲得しました。

学校内や、バイト先でコミュニケーション能力が高まった。以前よりも世代、国籍を問わずたくさんの人と会話ができるようになった。

卒業研究：自分で1から調べ文章にすることができた

入学当初に比べると、アルバイトや学校の授業等を通して様々な方と関わる事が多く、人とコミュニケーションを取る社交性は高まったと思います。

問題を解決するだけでなく、問題を見つけることができた。

コミュニケーション能力

授業やレポート課題などを通して文章の書き方がわかってきた

3年生まではサークル活動や勉強などに充実して取り組むことができたが、4年生になってから、自宅にいる時間が長く、もとの昼夜逆転引きこもり状態に戻ってしまった。物事に対する考え方は大きく進歩ところもあるが、新たな行動意欲がわいてこなかった。

実習や大学の演習を通して、積極的に自分の意見をいえるようになりました。

就活での面接練習や本番の試験の中で、自分に対する理解や企業研究ができ、人間的な成長に繋がりました。

アルバイトを通じて人間関係を広めることができた。

何かを作成して上手く表現できる力がついた

先輩や同級生色々な人との関わり

様々な人の意見を聞き、違う考え方もあるのだ、と気付かされた。色々な出身の人が集まる大学だからこそだと思った。

ボランティア活動

話す力と聞く力。話をまとめる力とグループワークなどで率先して話すことができるようになった。

コミュニケーション能力がかなり上がったと思う。

人と関わることを学んだ。

卒業作品を作りながら大いに感じました。

現在はコロナウイルスで活動が停止しているが、研究室活動が大変充実していた。社会に出る前に、それまでの先輩後輩の関係ではなく、大人の上下関係を学ぶことができた。

卒論を書き上げたこと。

対人スキルと生活力はアルバイトや学生生活でかなり身についたと思います。

大学野球で自己最速の球速を記録したこと。

経営、経済に関わる幅広い知識が身についたと思います。

グループ活動などが多く、コミュニケーション能力がついたと思います。

基礎知識を身につけ実習や実際現場でどのように働いているのかを見ることが出来た

サークル活動でのボランティア参加

様々な講義を受けて多くの知識を得ることができ、また、先生や友人と話すことで様々な考え方を知

ることができた。

専門的な技術を現場で応用できるようになったと思う

文化祭の実行委員の経験で人との関わり方の面で成長できた

レポートを書けるようになった。

私は留学生です。よく知っているところから慣れない環境までは勇気が必要です。ここ数年は私の経験です。アルバイトをしながら学校に通っています。社会経験も積んでいます。

コミュニケーション能力に自信が持てるようになりました。欠点ばかりを数えていましたが、自分の良さを考える機会が多くあったので別府大学の経験は素晴らしいものだと思えると胸を張れると考えています。

研究室活動

分からないことは日本人に聞きます。

人の前で自分の考えを発言する機会が多かったので人前で話す力が少しはついたと思う

レポートなどを書くことで、高校生などのところに比べ文章を書くことへの苦手意識が減った。

人としての忍耐力思考力が向上した。

国試に向けて勉強していく中で、知識が増え、答えられる問題が増えていくことで成長出来ているなと実感した

・学園祭実行委員の経験、チャレンジ精神、組織での行動力、周りを見渡す俯瞰的な視点が身についた。

人間関係を良くすることを学んだ

論理的な思考をする事が出来るようになり、視野が広がったためその分知識もつき、難しい話であっても議論出来るようになったことは成長したと感じます。

文化系サークルに入り、サークルの運営をしたことによって、人間関係やマナー、色々な面で成長できた

湯けむり健康教室で班のリーダーと全体のリーダーをして、まとめることの大変さを感じたが、どうすればスムーズに進むかを考えることもできたため、課題解決の為の力がついたと思います。

人とのコミュニケーションが取れるようになった。情報技術を高校よりも扱えるようになった。

教職を取ったことにより人前で簡潔的に話すことが以前よりはできるようになった。

ボランティアの参加（24 時間テレビおよび学会）大阪と東京に学会見学に行ったこと。

日本語能力

物事を多角的にみる意識を持つようになったことや大学生活の中でいろんな人と会ったことによって、自分なりの考え方や価値観が生まれた。

以前と比べると人の前にたって自分の意見を述べる事が出来るようになった。

やり切る力をつけた。

自分の作品が他者に認められた時

今まで持っていなかった知識が得られたことに感謝している。

授業の一環で海外に行って、世界が広がった感じがした。知らない人ともコミュニケーションを取ろうとするようになった。

個人的な内容を突き詰めて昇華することができた。（小説・ダンス・歌など）

コミュニケーション能力と専門的知識です（栄養学中心）

常に自分を追い込みスポーツなどでは妥協をせず練習に取り組めた事は今後の一生の財産になると感じた！

大学入学時は、人見知りで、人と話す事が苦手だったが、アルバイトや学生生活を通して、人と話す事が苦手ではなくなったことが成長だと思う。

社会とのつながりについて成長できた

サークル活動のイベントや授業などで人と関わる機会が増えてコミュニケーション能力を成長させることができた。

別府について深く学ぶことができた。国際交流も多く他の国の文化なども知ることができた。

資格取得に向けて真剣に勉強することができた

外国人との交流できる機会を与えてくれるイベントに参加し、半年以上の留学制度を復活させてくださったおかげで、英語を身につけることができた

特になかったです

人間的に学校で出会う人やアルバイト、勉強を通して、人間関係を築くことを学んだ。また、マナーも身についたと思う。

大学に入学するにあたり出身地を離れて一人暮らしを始めた事で自炊をするようになり、様々な食材の下処理の仕方や調理法を知って食物栄養学科に所属するにあたり必要な知識を普段から身につけることが出来ました。また講義や実習の中で栄養や疾患など栄養士としての技術を今の在学中に学ぶことが出来、完全な習得が出来たとは現在とは言えませんが、これからの卒業後につながる経験をする事ができたと思います。今後は大学での経験を活かせるような進路を決めていきます。

成長出来なかったと思う

クラウドファンディングを行うなどして大勢の前で自分の意見を述べる機会があり、メンタル面での成長があった。

周りの人間の考えをよく聞いて、それに配慮して結論を出す力が身についたと思う。

自分で率先して学ぶ力や人を頼むという力など十分でなかったものが少し力がついたと思いました。

時間の使い方です

忍耐力がつけました。

大学の考古学研究室活動、おもに研究室活動、その運営、勉強会、講演会等を通して、専門的な知識を習得することができた。また、アルバイトも通して、協調性やコミュニケーション能力そういったものを培うことができた。大学に来て、十分に成長できたと思う。

団長をしたこと

ゴルフ

私にとっての大きな経験となったのが、海外の方、文化との交流です。大学二年次に、APU 学生とのイベント交流でアメリカの友達を作りました。英語で会話したり、アメリカ旅行をする中で、見たこともない世界の景色、慣習、文化を肌で感じました。その後、「見たこともない世界を見させてくれる、グローバル言語である英語を日本で伝えたい」と私の人生観に大きな影響を与えました。留学をすることを決めた事も、その理由が決め手となったといえます。大学生活を通して、私もグローバルな世界を構成する一員であるという認識をもち、グローバルな視点を持つことが出来るようになりました。

ささいなきっかけで価値観が良い方に大きく変わった

国外研修でイタリアとフランスへ行き、他国の文化や歴史に触れることができた。また、そこから研究の幅を広げることもできた。

アルバイトを通して社会経験ができた。大学のサークルに参加することによって上下関係を学ぶことが出来た。

周りの人と自分の価値観は違うので色々な考え方を学んだ

留学、アルバイト、交際、校訓

行動力と考古学の知識が身についた

硬式野球部を通して人として社会人として必要なことを教わりました。

卒論を作る事で自分の意見を述べる事が出来るようになった。

嫌なことから逃げないようになった

見てる人が見やすい発表作成

自分自身が社会からどう見られているかが分かったこと。日本史についてのさらなる専門知識歴史について詳しくなれた。

色んな年代の方に栄養指導ができたこと

卒業論文を完成できたこと

義理と人情を知りました

アルバイトをしながら学生生活の勉強、資格取得のための勉強、就職活動など、やるべき事が多かったもので、計画性が身についた。

サークル活動でリーダーをさせていただいたことです。

コミュニケーション能力

様々なことに興味を持ち、自分で調べ考える力が身に付いた。教養を身につけることを習慣化できた。社会福祉士の実習で実際に目指している社会福祉士の業務や施設の中での立場や専門性を見ることが出来ました。また、実習報告会では先生の手厚いご指導を通してパワーポイントのまとめ方から文章能力がアップしたと思います。

交友関係

研究会活動を通して協調性が身に付いた。

専門演習での研究発表

教職課程を履修していましたが、教員としての知識が身についた。

読書力はかなり身についた

中国へ留学したこと

簿記についてより深く知ることができた。

教育実習

パワーポイントを用いての発表をする機会が多かったことは、レジュメと発表原稿の作成も含めて良い経験になったと思う。

海外に短期留学をしたこと

人とのコミュニケーション

長文作成能力は比較的向上した様な気がします。

社会人としてのマナーや自主性

資料4. 大学に期待することに関する自由記述

新しい学部とかできれば可能性は広がると思う。

もう少し、便利になればと思う

社会に出て行くために、立派な人材を育て欲しいです。

新型コロナウイルスの影響で他大学は講義を満足に受けられない中、迅速に対応してくださりありがとうございました。これからも学生の皆さんにより多くの学びの機会を提供して下さることを願います。学内のメールについてですが、講義の連絡など他学科のお知らせが多くあったので学科別に送信して下さいと嬉しいです。

勉強に集中できる環境

学生同士の切磋琢磨は皆無で向学心は生まれづらい環境だったが成績優秀奨学金制度だけは大変良い刺激になったので、この制度を学生により広く周知して欲しい。

もっと有意義な授業だと思っていた。

行きと帰りの通学のバスを出してほしい

災害時の連絡が早くて助かる。

留学生が授業中にうるさいのを改善すべき。野球部なのにしっかりしていないのを改善すべき。

温泉の知識を広める事です。

これからも歴史を紡いで行って欲しいです。

APUのような英語環境を学校が作ってほしいです。別大生の専門知識が非常に豊富だと思いますが、英語が話せない学生が少なくないので、英語環境がありましたら、みんなは普段、英語を使ったり聞いたりして、上手になる可能性があると思います。

学園祭はさつき祭も石垣祭も楽しかったので、どちらも続いて欲しいと思う。

コピー機を無料にして欲しかった。カードのチャージする機会が欲しかった。

今は、入学当初に比べると災害等の連絡が早くなったが、日豊本線が通っていても他の線が通ってなくても学校があって、どうしても行けない場合があったのでそこは考えてほしい。

大学が開いている時間を伸ばしてほしい。もっと大学で自主勉強ができる環境がほしい。

定期的に学生の要望、意見を聞いた方が良いと思う。担任は、選択制にした方が良いとおもう。やる気のない先生に面談をしてほしくない。業務としてやってるのが伝わる。学生の心に寄り添わない面談ならやらない方が学生のためであると思う。こういったことを素直に学生課などに言えるわけがないので、アンケートをとってほしい。4年の最後でアンケートをとるのでは、遅い。在学中に改善が期待できないので、定期的にこういったアンケートをとるべきだと思う。科目を履修している人のほとんどが落とされる科目があり、それが問題にならないのが、不思議です。先生の自己満足でしかないと思う授業だった。そういったことをあきらめないで改善してほしい。コロナ対策として、席は決められているものの、換気対策があまりされていなかった。席が決められていてもとても密で授業を受けていた。不安でしかなかった。

今年度でのオンライン授業の経験を生かすところはそのまま継続して、大学生の心の交流やサークル活動、地域でのボランティア活動が滞りなく行われるような配慮をしてほしい。

困ったことがあった時は、丁寧に対応して下さいだったので、特にありません。ありがとうございました。

・電子設備(音響、wi-fi、オンライン授業等)を充実させてほしい。

- ・在学生在利用できる奨学生制度(学業優秀者の授業免除等)の利用範囲を広げてほしい。
- ・自習で空き教室を使いやすいように教室の空き具合(教室申請の有無)を簡単に把握できるようなシステムづくり

自分の進路を確定させる

講義の質の向上。教養科目に芸術系の講義を含むこと。大学内全域による wi-fi の強化。p10 教室を今後も絵画のアトリエとし使えるようにしてもらうこと。あとアトリエに換気扇が欲しかった。あとアトリエの水道からお湯が出るようにしてほしい。あとアトリエの電気の色味をすべて揃えてほしい。

レポートの評価を統一してほしい

オンライン授業へのシフトする際の生徒へのケア

益々のご発展お祈り申し上げます

もう少し連絡事項等の早期連絡いつもギリギリで遅すぎる

ネット関連、主に zoom をもっと使ってほしい。使う授業と使わない授業が混在していたり、授業に出なければいけないのに、zoom でも同じ内容が出来る授業は、なぜ zoom にしないのか疑問に思った。

Wi-Fi 環境を整えて欲しい

もっと施設を広くして欲しい物を買える施設を増やして欲しい(大学生協など)

特別、改善してほしいことはありません。

社会に出るまえに知識や経験を身につけること

ICT の合理的活用

大学時代に一番期待していたことは、友達を作ること自分の語学力を高めることです。

自分の学びたい学問を大いに学べるのでこれからもシステムを大幅に変えることなくあってほしいです。

学食夜対応できるようにしてほしい

とてもいい学校生活を送れた

勉強資料を集める時に無料でコピーができると便利だと思いました

奨学金制度を増やしてほしい

学生が持っている長所をより良く伸ばしていってくれるような大学になってほしいと思っています。休講、補講などの連絡が全体的に遅いので、もう少し早く連絡してほしいです。

予定変更を早く決めて、連絡してほしい。変更がギリギリになり、帰省日の変更などにお金がかかる。

入学時の説明と入学後の実態の差があり、落胆した部分があった。入学説明会での説明およびパンフレット記載事項は守ってもらいたい。

食堂の衛生管理

今までお世話になりました！

建学の理念、教育方針を今後も引き継いでほしい。

話し合いができる個別スペースをもっと作ってほしい。

1 番下の生徒のレベルに合わせず、積極的な生徒を中心に伸ばしてほしい

学生の心のケア

大学なのに、丸善に勉強に使うためのテキストがまったくほぼ無いのはなぜなのかずっと思ってい

ました。資格取得を目指す学科があるので参考書などを常に販売しているのが普通ではないんですか？

実験器具などで古いものが多々あるのでもう少し学科にお金を出して欲しい

強化部の特待生制度を改めた方がいいと思います。もっと頑張っている人が報われる環境になることを望みます。真面目に取り組まない人が全額免除になるのはおかしいと思います。

オンライン化をより進めてほしい。

これから先を生き抜く学生にとって、大学教育が担う役割は大きい。社会と一番近い教育現場において、「学ぶこと」とはどのように学生の将来に活かされていくのかを、動機づけていき、それを学生が具現化できるような機会を大学の講義で与えていくことを期待する。AI が近い将来、人間の知能を超えていく中で、人間が教育を学ぶ意義とはどこにあるのか。そのような答えを大学が一体となり、思考を巡らせて見出すなかで、教育の一層の向上に繋げてもらいたい。

駐車場近くに増やして欲しい

人が多すぎる講義が出ないように人数調整や同じ講義を 2 日に分けるなど教室で座る場所がないというような状況が生まれないようにしてほしい。

サークルを通しての人間関係、対面授業での先生たちとの交流が増えるといいです。

潰れないように経営を応援してます！

オンライン授業の充実をもっとしてほしいです。

これからも過ごしやすい良い環境でいてほしい

さらなる飛躍

生徒からのクレームが多くある先生について、なにか対応して欲しいです。

このご時世仕方がないことだが、授業が対面になりそのぶん通学が楽になったが、友人に会えなくなり、サークルもなくなり、学園祭なども無くなったので、このまま卒業は寂しくもやりきれない気持ちもあります。

大学設備の充実

思考力を身につけること。

早めに連絡をすることとホームページの改良

資料5. 卒業する学科に期待すること（自由記述）

国際言語・文化学科

各々の学びたいことの核心が見つけられるようになってほしい

卒業生、在学生による合作など。若い人たちへ、本学のアピールが出来る呼びかけやイベントなど。特にはないが、英会話のような授業がもう少しあってもよかったと思う。

研修旅行があればよかった

充実した英語の講義、また、英米文学の深い研究ができる学科である。これからも、質の高い授業を期待する。

冬場の図書館が寒すぎて勉強をしにくかったので暖房温度や設備をしっかりと欲しい。

単位を順当に取って欲しい

今後もさまざまな言語に対して、深く研究していける学科であって欲しいです。

さらに豊かな発想ができる芸術表現の場となってほしい

英語でのコミュニケーションを重視した授業

文学的知識をもっと増やすこと。

史学・文化財学科

別府大学を卒業された先輩方にお会いし、アドバイスをいただく機会が多くありました。先輩方のように別府大学卒業生としての誇りを持ち生活しようと思います。これからも丁寧なご指導をよろしくお願いいたします。

大学内における史学系の学科として確固たる立ち位置をこれからも守って行って欲しいです。

今後も、卒業した時に、「この学科で良かった」と思えるような学科であってほしい。

よりよい教育がなされることを期待している。

就職する分野に生かせるようなことを学ぶところでは無いので、より学問の面白さを伝えるようなカリキュラムにして欲しい。

卒業後も同級生と交流したい。

そのままでもいい

さらなる飛躍

書籍完備

人間関係学科

今のまま、優しい学科であってほしい

講義を聴くだけの授業は眠たくなるので、誰かに当てるか、クイズ形式にしてほしい。オンライン授業の場合 PowerPoint などの資料があるとありがたい。紙の資料を配っているものも自分で必要なところを印刷できるほうがよい。5 階のプリンターや研究室のプリンターが使えてただでできればその方が紙の無駄が出ない。4 年生になってから、オンライン授業ばかりで人間関係学科に所属している

意識が薄れてしまった。人間関係学科の学生としての連帯感がこれからどうなるか一抹の不安がある。これからプログラミングを使うような世代も来るとまたオンライン授業などの ICT がどう活躍するか期待したい。

この学科にいて、様々の事を経験でき、成長もすることが出来たので、特にありません。ありがとうございました。

- ・フリーで活用できる教室が欲しい
- ・学年、コースを超えての関わり合いの機会(一緒に探究活動をするなど)

生徒と先生のコミュニケーションというか、意思疎通を図るすべが少なすぎる。それぞれの先生の色があるとは思いますが、ある程度は統一してほしい。授業スタイルではない部分で、先生ごとに差があるのは改善してほしい(出席カウントの取り方など)

特別、改善してほしいことはありません。

資格取得の方法を具体的に教えてほしいと思ったことが多々あります。学生がこのような資格を取りたいと望んでいたなら、具体的な方法を教えてあげてください。

心理や福祉の知識をより良く学べていけるような学科になってほしいと思っています。

食物栄養学科

国試対策(小テスト、月1模試)は、とても力になりました。

病院関係の管理栄養士の就職以外の食品会社などの職種の方からのお話を聴ける講座があればよかったです。

自分たちが自宅で調理をするべきだと思うが、もっと調理や献立作成などの機会を増やしたほうが良いと思う。

自分たちは、合格率向上のために勉強するわけではない。100%目指そうって思って勉強している人なんかいない。勉強している人全員、自分の将来のために勉強している。合格率のことを学生に言うのは違うと思う。先生たちの中だけで言ってほしい。足切りテストは、合格率を上げるためにやるのであれば、もし、足切りテストで落ちて、本番受けられなくても、管理栄養士の国家試験の受験資格は与えてあげてほしい。足切りテストなのに足切りって認めないのはなぜか。やるなら、堂々と足切りテストだと言ってテストをすればいいのに。

足切り試験の廃止、担任制度の廃止

勉強も確かに大事であるが、寝らずにやれと少しハラスメントは大丈夫なのかと思う部分がある。若いから寝ないでできると言われたこともあり少し不愉快であった。

卒業しても関わりたい。

管理栄養士の国家試験の勉強は早いうちからしてたほうが良い

もっと早くから国試対策を入れるべきだと思います。

学生が質問に行きやすいような環境とか声掛け

一年の頃から授業内で過去問を解くことがあると、より国試対策ができると思う

特にありません。

先生が授業の時間になっても来なかったりするのが嫌です。あとは、本気で生徒のことを考えてくれている先生とそうじゃない先生の差があると思います。

他の学科との関わりがあまり無かったので食育などを通して関わりが増えたらいいなと思います。

発酵食品学科

卒業研究により力を入れて欲しい。事前の説明と実際の研究があまりに乖離していて困惑する学生が多すぎると感じる。研究室が1、2、3年生に対してよりオープンである必要があると感じる。しっかり授業をしてほしい。

嘘をつかないこと。人に平等に接すること。柔軟な対応を。

発酵食品学科を卒業後の進路は専門性を活用できるよう、在学中のカリキュラムや指導方法を検討してもらいたい。また進路の新規開拓も常に力を入れてもらいたい。

自分が杜氏になるまでこの学科が残っていてほしい

国際経営学科

学部で、海外への研修を増やす

知識を身につけるのはもちろん、それを人にうまく伝えるという力を身につけて欲しいです。

満足で、特にありません。

資格取得

もっとゼミ間の関わりや繋がりを強化してほしい。

卒業してからも、大学時代の専攻を続けています。

もっとコースの専門的知識を学べるような環境づくり

観光系の授業を充実させてほしい

今後の活動に期待したい！

資料6. 後輩へのメッセージ（自由記述）

単位だけは取り切ることを勧める。バイトも大切だが、それを理由に授業で寝たりするのなら、辞めて就職したほうが良いと思う。選ぶ授業については、友達とかと相談をして、単位を取りやすい授業や、もし何かあった時のために友達と一緒に受ける事を勧める

自分の心根から響くものを見つける

他の学科と違って必修科目数が多く、辛くなる時や逃げ出したくなる時があるかもしれませんが、日々私達のために講義をして下さる先生方、一緒に過ごす友人、支えてくれる家族のため、そして将来の自分のために諦めずに頑張ってください。今4年間を振り返ると、日々の努力が大切だと感じました。大学生生活は、学生生活最後です。後悔のないように楽しんで過ごして下さい。

楽しいこと、辛いことたくさんあると思いますが、自分の意思をしっかりと持ってこれからの大学生生活を送ってください。

大学生活は様々な年齢や国籍の方と出会い交流の幅が広がります。学校生活だけではなく、様々なことにチャレンジしてください！

大学でしか経験できないことたくさんあると思うので、思いっきりいろんなことを経験してほしいなと思いました。

授業が終わった後にも専攻と関連した勉強をたくさん習得してほしい。

好きにして下さい。

先生を頼ったらだめ。自分から動くこと。

就職活動は、キャリア支援課を訪ねたり、早めに動いていた方がよいと思いました。

勉強が楽しくて仕方なければ続けてほしい。でもこの大学・学科に居続けることに違和感を持ったら、早めに複数の大人（大学卒）に相談して早めに転学・転科を考えたほうが良い。

諦めないで!!

やりたいことを見つけるべきだ。

1年でフル単位取ろう、4年で取ったらいいではなく日頃からしっかりと取っていこう。時には単独行動も大事。周りに流されて便乗するばかりでは退屈な大学生活になるでしょう。

頑張ってください！

この学科は多くの都道府県から人が集まるので多くの人と交流し仲間をつくって勉学を中心に色々な事に挑戦して欲しいです。

何よりもチャレンジすることが大切だと思います。何でもチャレンジしてみましたら、勉強したことが将来にどこかに必ず役に立つのです。積極的にいろいろをチャレンジしましょう。

学生の間にいった留学経験や旅行はすごくいい経験になったと思うので、コロナ禍が落ち着いたなら経験して欲しい。

卒論の課題を早めに決めましょう

食物は、湯けむり健康教室やボランティア活動など様々な活動が多いと思います。だけど、そのような活動に参加して自主的に行動しないと、結局やらされるだけになって、なんのためにやってたのかなってなると思います。どう成長したいか、人前で話せるようになるなど、目標をもって活動に取り組むとずっと成長できるかなと思います。

就活は早い段階で始めてた方がよい

コロナで大変だけど単位や卒論、就活など色々頑張ってください。

なにか一つ極めるべし。

大学生になると、集団での行動よりも、自分自身で考えて行動することが多くなります。その時に、自分自身で考えた行動が、自分のためになることか、他人のためになることか、楽しむためのものかを選択しなければならなくなると思います。これらが絡み合って葛藤となることもあるかもしれません。また、タイミングというものがあり、「これをしたい!」ということがあるかもしれません。それを逃したり、ただ考えずに時間だけを浪費すると、大学に入った意味ありません。勉強、アルバイト、ボランティアなど何でも良いので何かに挑戦することでチャンスが訪れるので、是非やってみてください。今、最悪な状況で落ち込んでいる人も、限られた状況の中でも、良い瞬間は必ず訪れます。その瞬間を幸せに感じれることができるようになれば、自分の気持ちが明確になると思います。大変なときに大学生ですが、これを乗り越える力を蓄えることが今は大切です。みんなも大学や就活で人生が決まるという考えではなく、その先も生きていくことを目標に今を大事にしましょう!

自分の将来のために、日々の大学生活を楽しみながら、勉強や資格取得を頑張ってください。

何も考えずに過ごすと4年間はあっという間に終わります。後悔しないために、勉強もプライベートも充実した学生生活を送って欲しいです。大学の勉強や自分の好きなものの勉強でもいいので、何か目標を持って頑張ってください。また、社会人になると時間がなくなるので、遊びも今のうちにしていた方がいいと思います。メリハリをきちんとつけて、楽しく充実した学生生活を送れるよう頑張ってください。

1年の時からちゃんとしていれば後々自分が楽になるから

この4年間は今後の財産になるような貴重な時間だった。迷って逃げる前にチャレンジしてみると新たな発見があると思う。

頑張って欲しい

コロナ禍だけどできる限りで友達と思い出を作って欲しい

楽しい大学生活を送ってください!

最初からオンライン授業の1年生は凄く大変だと思いますが、頑張って下さい。

大学4年間は、長いようであっという間です。全力で勉強をし、アルバイトし資格を取り遊んでください。

コロナに負けず、積極的に行動して、充実した大学生活を!

先生とはもっとコミュニケーションをとった方がいい。授業中に寝ることも、スマホを触ることも、結局は自分に返ってくることなので自己責任だから構わないが、いつもの同じメンバーで固まると周囲が見えなくなる。あと一年生の時からコツコツ単位は取っといた方がいい。無理しない範囲で受講しよう。後〜回休めるという考え方になったら危ない。授業をこなすことも大切だが、常に親や先生などと将来の話をしながら大学に通うと建設的かもしれない。

頑張ってください

しっかりと学んで、自分のなりたいもの、やりたいことを掴んで欲しい。

幅広い講義を受けた方が良くと思います。

社会に出る前にたくさん遊んでたくさん勉強して下さい

後輩に話すと、大学時代は記念すべき時代です。勉強してたくさんの友達を作って、学校のサークルに参加してください。

善き学園生活を送ってください。

コロナで大変だと思いますが、頑張って生きてください

コロナに負けないでください。

がんばって卒業して下さい

早くから国試の勉強していた方があとから楽だし、焦らなくて済む。国試前になると他の人と点数を比べがちなので、勉強しておくことで落ち込むことが無くなる。

コロナに負けず、頑張ってほしい

最初から「出来ない」「わからない」と言う前に自分で調べたり、先輩に聞いてください。まわりは必ず助けてくれます。恐れずに自分の意見を言うてください。自分の意志を伝えることはこれからの社会生活においてもとても大切なことです。意見を殺すことは自分を消してしまうことになります。自分の意見を大切にしてください。バイトはほどほどに♪

積極的に先生の所に質問に行くといいと思います

コロナ渦で就職が大変かもしれませんが仲間たちと支え合って素敵な職場を見つけてください。応援しています。

一年のうちから絶対にはコツコツ勉強した方が4年になって焦ることが減ると思う

大学生活の中での学びや経験は皆さんの考え方や価値観に影響を与えるのではないのでしょうか。そのため、ぜひ大学生活を楽しんでほしいと思っています。

自分が将来何をしたいかを早いうちに考え、興味がある事は何でもして欲しいです。特に交友関係は学内のみではなく他の大学の人や大人とも結ぶ事がひいては自分の事を考えるきっかけになるのだらうと思います。これは私が在学中にこうあれば良かったなという後悔もあるので、後輩の皆には後悔なく頑張って欲しいと思います。

もし希望の進路がなければ休学などの手段を取り、自分のやってみたいことを優先してもよいと思う。大学での学びが必要となった時に復学することで、自身の身になる知識が得られると思う。

早め早めの行動を大切にしてください。

やりたいことをやるだけやれ。後からやりたいと気が付いても4年になってからでは遅い。なるべく早くやれ。色んなことに手を出せ。

コロナ等で一般の大学生活のようにいかないと思います。楽しむ、というよりも自主的にどうしたら楽しめるかを考えることのできる機会でもあると思うので前向きに過ごしてほしいと思います。

妥協は一生の後悔を忘れずに！

史学・文化財学科での学習は、覚える事も多く大変だけど、卒業まで粘り強く頑張ってほしい。

勉強頑張って下さい

卒業できるようがんばってください

やってみないことには何も始まらないし何も生まれない。自分のやりたいことは行動してみないと出せない答えなので、「とりあえずやってみる」を心がけたら自分にしかない武器が見つかると思います。その次のステップは継続です。頑張って下さい。

辛い事があった時、どんな時も1人じゃないことを忘れないで下さい。照る日もあれば、曇る日もあります。必ず良い事があるので、一緒に頑張りましょう。

就活とか大変やと思うけど頑張ってね

時間は有限なので大学生活まででやりたいと思ったことは最後までやり遂げてほしい。

大学生活は思い描くものと違うものもあると思います。そして思い描いていた進路とも違うものとなることもあります。でも自分の力を信じて進んでいけばいつかはきっと素晴らしいものが作れるはずです。

理不尽なことに我慢できる忍耐力は身につくと思います。

『諦めるな』それだけである。

大学は、あなたが学びたい方向へと進める場所です。これまでは、前もって、敷かれたレールに学ぶ教科があり、なんとなくで、「勉強」をしてきたのではないのでしょうか。大学では、そのような「勉強」は求められず、自分自身でその学びのレールを作っていきます。その積極的な「学び」を大学は最大限に応援してくれます。常に自問自答してみてください。「私は、一体、何をしたいのか」と。それが、あなたが大学で、“創る”レールのきっかけとなるはずです。自分の可能性を信じて、「自分だけの学び」を探求して行ってください。

留学は1人で行った方がいいと思います。

卒論大変ですが、負けずに頑張れ！

卒論は発表する前年に終わらせて、後は発表に専念する事。資格を取れるくらいの単位は取った方がいい。

大学楽しめよ

普通に生活してるだけでは就活で厳しいのが現状です。誰よりも早く行動できるようにしながらも、史学というとても面白い分野を満喫してください。

別府大学は親身になって話を聞いてくれる先生達がいるので困った時は頼って、自分自身の進むべき道を見つけて行って欲しいと思います。

勉強しやすい環境ができてこの大学で、自分の可能性を広げてください

1年ときから単位を取っていれば有意義な学校生活が送れると思います。

諦めたら絶対にダメだ

〇〇くん、彼は大物になる男だよ 俺はいつでも応援するからな！

新型コロナウイルスの影響で、就職活動がかなり大変でしたが、諦めずに努力することが大切だと思います。

勉強と大学生活と十分に楽しんでください。

大学4年間で自分のできること、したいことを見つけ、その分野を発展できるよう努力してほしい
さらなる飛躍

何事も早めに終わらせた方がいい。

どこの大学に行ったか、よりも、その大学で自分が何をしたか、が大事だと思います。ぜひ、別府大学に入学したからこそできる体験をたくさんしてください。

歴史じゃ食えない。友達は一人でも良いから作っておいて損はない。

大学生活を思いっきり楽しんで下さい

やはり早め早めの行動を心掛けることが、大事だった。

自主的に行動をすることと何事も早めの行動を行うことが大切だと思います